

目次

令和7年新春によせて……………	1
診療放射線技師実地研修に参加して ……	2～3
AI 問診システム導入のお知らせ ……	4
外来医師担当表 ……	5

発行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会
国立病院機構

発行責任者：萩野 哲男

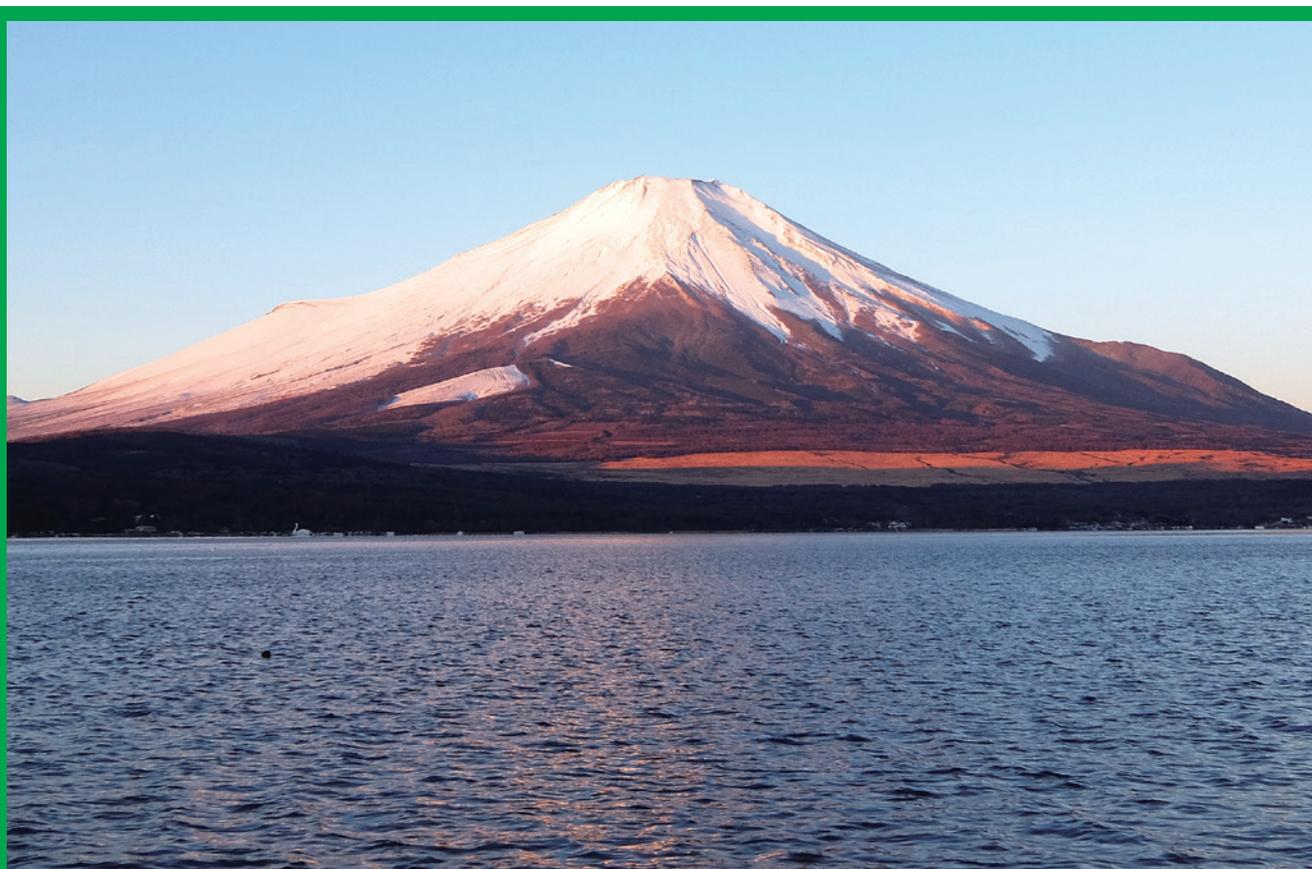
住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町11-35

電話：055-253-6131

ファックス：055-251-5597

ホームページ：<https://kofu.hosp.go.jp/>

Eメール：227-nhokofu@mail.hosp.go.jp



山中湖より



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization Kofu National Hospital

甲府病院の理念

理念

私たちは、良質な医療の提供を通じて、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

基本方針

●丁寧な説明に努めます ●自己研鑽に励みます ●職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします
病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します

令和7年新春によせて

院長 萩野 哲男



新年あけましておめでとうございます。皆様には、日頃より国立病院機構甲府病院の運営に深いご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、新年早々に能登半島地震が発生し、8月には宮崎沖地震も起こり、多くの方々が被災されました。現在も完全な復興には時間がかかっており、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。1日も早く平穏な生活を取り戻されることを願い、今後の復旧作業が順調に進むことを祈っております。当院におきましても、災害対策の必要性を改めて痛感し、対策を少しずつではありますが進めております。

また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症の影響もいまだ完全には収束しておらず、多くの患者さんに安心した医療を提供するために、感染対策を徹底してまいりました。同時に、病院全体の医療安全と質の向上を目指し、職員一同が一丸となって努力してきました。引き続き、万全を期して、患者さんとそのご家族が安心して療養に専念できる環境を整えてまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当院は、重症心身障害児（者）医療や小児・周産期医療において、山梨県内で重要な役割を担っております。特に、重症心身障害医療の分野では、患者さんやご家族が安心して医療・療育を受けられるよう、さらなる充実を図ってまいります。また、糖尿病治療、膝やスポーツ傷害、手外科疾患に対する専門的な治療、さらに小児整形外科分野においても、地域医療への貢献に努めてまいります。

昨年、野球界で大きな話題となった大谷翔平選手の活躍は、多くの人々に勇気と希望を与えてくれました。彼の努力と献身的な姿勢は、私たちにとっても大きな励みとなり、明るい未来に向けた前向きな気持ちを改めて認識させてくれました。私たちも大谷選手のように、困難に立ち向かいながら前進していきたいと思っております。

これからも、国立病院機構の一員として、医療の質を高め、安全で信頼される医療機関であり続けるために、職員一同尽力してまいります。新しい一年が皆様にとって健康で幸多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和7年 元旦

令和6年度 成育医療研修会 診療放射線技師実地研修に参加して

放射線科 名執 佑実

令和6年10月10、11日の2日間、国立研究開発法人国立成育医療研究センターで開催された「令和6年度成育医療研修会(放射線技師コース)実地研修」に参加させていただきました。本研修では、成育医療研究センター放射線診療部の一般撮影、CT、MRI、X線透視撮影、血管撮影、核医学検査、放射線治療など幅広いモダリティの検査が実際に行われている現場を体験しました。

研修を行った国立研究開発法人成育医療研究センターは、東京都世田谷区に位置する小児・周産期医療に特化した病院と研究所併設の施設です。現場では装置や検査室を子供が怖がらない様に装飾を施してあったり、DVDなどアニメーションを見ながら検査をする為のモニターがあったりするなど、様々なところに子供たちが少しでも不安を和らげる小児病院ならではの工夫がありました。

それぞれの検査を体験する中で、小児撮影は成人と比べ疾患はもちろんのこと、年齢によって理解力が異なる患児に合わせて撮影するため、専門的な知識と技術を要するだけでなく、接遇やコミュニケーションも重要であることを改めて理解しました。特に一般撮影では、これまで検査説明は主に保護者に対して行い、子供の気持ちを十分に考慮せず検査を行っていましたが、今回の研修を通じて、子供の目線に立ち、寄り添ったコミュニケーションがいかに重要かを学びました。子供にとって見慣れない環境や機器に対して不安を感じる事が多く、その気持ちを理解し、共感することが検査をスムーズに進めることに繋がると気づきました。これからは、「お父さんやお母さんと一緒に、カメラでお写真撮るのと一緒のことをするよ!」など子供が緊張しないよう安心感のある言葉で話しかけたり、撮影後には「よくがんばったね!」と出来たことを褒めて成功体験を得られるように伝えたりして、積極的に検査に臨んでもらえるよう日々の接遇の質を高めていきたいと思いました。



国立成育医療研究センター外観



さらに、医療被ばく線量会議にも参加させていただき、小児画像検査の医療被ばくを考慮した撮影方法や適切な放射線量の管理について理解を深めました。小児医療における放射線管理は、慎重なアプローチが求められるため、当院でも臨床医と十分にコミュニケーションを取り、放射線検査だけでなく被ばくを伴わない代替検査への情報提供ができるよう取り組んでいきたいと思えます。また、今後新たな取り組みとしてCT撮影プロトコルの見直しや、頭部CTヘッドホルダーの使用によりできるだけ画質を損なうことなく低線量で診療に貢献できるよう取り組んでいきたいと思えます。



CT装置



一般撮影室

今回の研修を通して、小児の特徴にあった最適な撮影方法や接遇方法、専門的な知識を学ぶことが出来ました。また、普段の業務ではなかなか見ることができない症例や撮影も見ることができとても貴重な経験となりました。今回学んだことを活かして安全を確保しながら質の高い医療が提供できるよう今後の業務に精進していきたいと思えます。

令和6年度一日平均患者数

(小数点以下第2位は四捨五入)

※1月分及び年間累計は2月1日現在

入院	月別 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	一般	97.1	100.4	97.6	95.2	103.6	84.0	83.3	103.9	103.7	110.0			
重心	123.0	123.0	121.5	121.5	122.2	123.1	122.5	123.1	122.2	123.1				122.5
計	220.1	223.4	219.1	216.7	225.8	207.1	205.8	227.0	225.9	233.1				220.4

※1月分及び年間累計は2月1日現在

外来	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		256.1	249.2	258.5	265.0	252.4	270.2	253.0	253.2	265.3	285.6			

AI 問診システム導入のお知らせ

昨年の12月末より整形外科を皮切りに、AI 問診システムを導入しました。

従来、紙に記載していただいていた問診票を、病院のタブレット端末等か、ご自身のスマートフォンから事前に入力していただける電子問診（AI 問診）の運用を開始しています。

カルテへの転記の手間が削減できるうえ、転記ミスも防止できます。高齢患者さんも特に支障なく入力していただいています。来院前に自宅で事前問診することで外来待ち時間の短縮にもつながります。

特に当院にとって症例の多い膝疾患では、紙の問診票への記入に約30分もかかってしまい患者さんにご負担をおかけしていたところですが、AI 問診では15分程になっており、ご負担を軽減できたと考えています。

今後は対象を他科にも広げる予定で、これに伴って運用もより便利になるよう修正していく予定です。



【患者さんのスマートフォンから来院前にご自宅等で入力する方法】

- 1 受診の前日等に当院のホームページからAI 問診システムにアクセスし、問診に回答していただきます。
- 2 回答が終わると仮IDが発行されますので、スクリーンショットの機能等で番号を控えていただきます。
- 3 来院後、受付窓口で仮IDを提示していただき、窓口職員が電子カルテ番号と紐づけることで医療者が問診情報を見られるようになります。

例えば、小児科の患者さんの保護者の方については、病院内でお子さんに目を配りながら書くよりも、ご自宅等の落ち着いた時間に入力できるようになるため、負担感も軽減できると考えています。

（なお、スマートフォンをお持ちでない方には、従来通り来院後に病院のタブレット端末からご入力いただくことも可能です。）

運用が開始したばかりなのでご不便をおかけすることもあるかと思いますが、患者さんの負担軽減に役立てればと考えています。ご利用いただき、ご意見、ご質問等がございましたら、病院代表までお問い合わせください。

国立病院機構甲府病院 外来医師担当表

2025年2月1日現在

			月	火	水	木	金	
一階	消化器内科	消化器内科診察室	奥脇 徹也 (受付は10:30まで)	白勢 大門 (受付は10:30まで)	鈴木 雄一郎 (受付は10:30まで)			
	消化器外科	消化器内科診察室					土屋 雅人 (外科)	
		診察室 1	鈴木 哲也	鈴木 哲也	鈴木 哲也	鈴木 哲也	鈴木 哲也	
		診察室 2	浅川 真巳	浅川 真巳	浅川 真巳	浅川 真巳	浅川 真巳	
		診察室 3				白石 謙介		
		(5階)化学療法	診察室 1		○	○		
		診察室 2		○	○			
	内科	診察室 3	渡邊 美教	武田 怜			中尾 篤人	
		診察室 4	黒澤 理恵	黒澤 理恵	黒澤 理恵		黒澤 理恵	
		診察室 5		古屋 直子	古屋 直子		大学 医師	
	糖尿病内科	診察室 4	黒澤 理恵	黒澤 理恵	黒澤 理恵	望月 美恵 (小児科)	黒澤 理恵 望月 美恵(小児科)	
	循環器内科	診察室 6	葉袋 路子		中村 貴光 (受付は10:30まで)		黒木 健志	
	呼吸器内科	診察室 3			本間 健太 (午後)		副島 研造 (午後)	
	神経内科	診察室 7			太田恵美子		太田恵美子	
脳神経外科	診察室 8	長沼 博文	長沼 博文			長沼 博文		
	診察室 9 (共用)					大学 医師		
皮膚科	消化器内科診察室					川村 龍吉 (受付は10:30まで)		
整形外科 (スポーツ・膝疾患 治療センター)	整形 1	午前	萩野 哲男	古屋 直人	古屋 直人	萩野 哲男	齋藤 正憲	
		午後	第1週 小児外来 若生 政憲				定の外来 藤巻 太郎	
	整形 2	午前	千賀 進也		千賀 進也	白須 敬士	千賀 進也	
		午後				脊椎外来 大学医師		
	整形 3	午前	白須 敬士	落合 聡司	落合 聡司	落合 聡司	天野 滉大	
	整形 4	午前		山下 隆	齋藤 正憲		山下 隆	
	整形 5	午前	装具 外来		装具 外来	萩野 哲広	装具 外来	
	診察室 9(共用)	午前	萩野 哲広	天野 滉大		古屋 直人		
	診察室10(共用)	午前	山下 隆		天野 滉大			
検査室(内視鏡)	午前(上部)				村松 篤			
	午後(下部)					若尾 聡士		
小児科	1		内田 則彦	望月 美恵	沢登 恵美	沢登 恵美 望月 美恵(第3木)	望月 美恵 沢登 恵美(第3金)	
	フォローアップ			久富 幹則		(午後) 予防接種		
	専門外来 午後 完全予約制	1	神 経 (中村 幸介・石井 佐綾香・田丸 径)					
		2	腎 尿 路 (沢登 恵美・中澤 瑞葉)					
		3	内分泌・糖尿病 (望月 美恵)					
		4	肥 満・栄 養 (内田 則彦・濹澤 裕史)					
		5	小 児 循 環 器 (大学医師) 第1木曜日・第3月曜日、第4水曜日					
6		小 児 摂 食 (小野 智佳子) 第1・3木曜日						
産婦人科	1	午前	滝澤 基	雨宮 厚仁	平井 聡美	雨宮 厚仁	滝澤 基	
	午後(予約のみ)	出生前遺伝 カウンセリング外来						
	2 (予約のみ)		雨宮 厚仁	滝澤 基	滝澤 基/雨宮厚仁	滝澤 基	雨宮 厚仁	
眼科			古屋 敏江 (予約のみ)	古屋 敏江	古屋 敏江		古屋 敏江	
泌尿器科(予約のみ)			滝花 義男(奇数週)					
耳鼻咽喉科						矢崎 裕久		

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分 (再診で予約を取られている方は予約時間まで)
 (※水曜日午後呼吸器内科の受付時間は13:00～15:00です(診察13:00～16:00))
 ●各科診療の予約状況により、初診及び予約外再診の方の外来診療をお受けできない場合があります。泌尿器科の初診の受付はありません。

※右記のものについては事前の
 ●小児科 専門外来 ●毎月第4金曜日午後 外来糖尿病教室 ●出生前遺伝カウンセリング外来
 予約が必要となります。 ●乳児健診 毎週火・金曜日 ●予防接種(小児科) 毎週木曜日

助産師・看護師による専門外来のご案内
 ●母乳外来(月～金曜日) ●フットケア(開催曜日はお問い合わせください) ●育児相談(月～金曜日)(※事前の電話予約をお願いいたします)

特殊外来ご案内
 ●「物忘れ外来」については、脳神経外科(月・火・木・金曜日)で行っています。(初回受診時は、紹介状と電話予約が必要です。かかりつけ医から紹介状をお受け取りになったら、13:00～16:00の間にお電話ください。)ご家族が「忘れることが多い」と気づいたら、受診されることをお勧めします。

作品募集
 「てんじん」に掲載する写真等の作品を募集しています。
 ■宛先 国立病院機構甲府病院 経営企画室 金子
 e-mail:kaneko.yoji.va@mail.hosp.go.jp

2024年度職員採用試験案内
 看護師・助産師・看護助手の採用試験(パート)は随時行っています。
 申し込み方法 ※下記の電話番号に(平日8:30～17:15)直接ご連絡下さい。
 連絡先 国立病院機構甲府病院 庶務係長
 TEL:055-253-6131 FAX:055-251-5597

編集後記
 インフルエンザやコロナ感染症等は依然として流行しています。感染症の予防には手指消毒の徹底が必要ですが、「湿度」も重要です。適切な湿度は気温20～25℃の環境で40～60%と言われています。湿度が40%を下回るとウイルスが飛散しやすくなり、ウイルス感染の可能性が増加します。感染症予防へ向け、手指消毒と合わせて適切な湿度管理も心掛けていきましょう。(編集委員 M・A)